

サモア（2025 年度）

- [国・地域別情報トップページへ](#)
- [各国・地域情勢](#)
- [在サモア日本国大使館](#)

1. 2024 年度日本語教育機関調査結果
2. 日本語教育の実施状況
3. 教育制度と外国語教育
4. 学習環境
5. 教師
6. 教師会
7. 日本語教師派遣情報
8. シラバス・ガイドライン
9. 評価・試験
10. 日本語教育略史

1.2024 年度日本語教育機関調査結果

初等教育			中等教育			高等教育			学校教育以外			全体の合計		
機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数
0	0	0	0	0	0	1	1	15	0	0	0	1	1	15

（注）2024 年度日本語教育機関調査は、2024 年 9 月～12 月に国際交流基金（JF）が実施した調査です。また、調査対象となった機関の中から、回答のあった機関の結果を取りまとめたものです。そのため、当ページの文中の数値とは異なる場合があります。

[「海外日本語教育機関調査」のページへ](#)

2.日本語教育の実施状況

全体的状況

沿革

現在サモアにおける日本語教育の拠点となっているサモア国立大学は、1997 年に日本の無償資金援助により、新キャンパス（新校舎）が建設され、翌 1998 年に JICA（国際協力機構）から学長アドバイザーとして日本人専門家が派遣された。同年、同大学に JICA からシニアボランティア日本語教師も派遣され、サモアでの日本語教育が始まった。また、日本の無償資金援助により設立されたサモア技術学院（Samoa Polytechnic）は、2006 年にサモア国立大学と統合され、大学組織の一部として同年から同学院観光科において日本語が必修科目として取り入れられた。

サモア国立大学では、2001 年に人文学部（Faculty of Arts）内に初めて 2 つの日本語コース（JAB100、JAB101）が認定され、2002 年に 3 つのコース（JAB102、JAB200、JAB201）が自由選択科目（Elective Course）として承認された。2006 年のサモア技術学院との統合に伴い、日本語コースは HJA コースとして名称が変更さ

れ、人文学部の副専攻選択外国語科目及び技術学院（Institute of Technology）観光科の必修外国語科目として認定された。

2011年の大学組織改編により、日本語はサモア国立大学人文学部日本語コースの副専攻選択科目及び同大学商経学部（旧技術学院）観光科の必修観光外国語科目となった。

2023年当時、人文学部内に4つの日本語コース（HJA100 Introduction to the Japanese language、HJA101 Elementary Japanese、HJA200 Intermediate Japanese 1、HJA201 Intermediate Japanese 2）が設けられていたが、講師不在のため、2024年末まで全コースが休講となった。その後、2025年2月から12月までの期間、JICAより短期派遣の日本語教師（ボランティア）が派遣され、日本語講座が一時的に再開された。しかし、JICAによる継続的かつ常時の派遣が困難であることから、2026年度以降、継続的に日本語教育を実施できる体制が構築されるまで、同大学での日本語講座は休講とする方針となった。

背景

直接のきっかけは日本の援助と学長アドバイザーの派遣である。また、かつてサモアに Yazaki EDS Samoa、Kitano Tusitala Hotel（、Pacific International社（いずれもその後撤退）など日本企業が幾つか存在したため、サモア社会に日本語の需要が認められたことも、日本語導入の背景となった。

特徴

日本語教育が行われているサモア国立大学は、サモア唯一の国立大学（理、工、海洋、人文、商経、教育、看護衛生科学、学生数3,000人プラス）であり、サモアで唯一の日本語教育の機関でもある。人文学部外国語学科日本語コースの日本語は、副専攻選択科目である。

2006年のサモア国立大学との統合以降、大学組織の一部であった技術学院の観光学科は、2011年の大学組織改編で同大学商経学部（Faculty of Business and Entrepreneurship）観光学科となり、観光日本語を必修科目としている。1998年の開講以来続く社会人向けコミュニティー講座には、初級、中級、観光日本語があったが、現在は開講されておらず、またサモア国立大学も2020年時点でHJA100、HJA101、HJA200、HJA201のコースが設けられていたが、講師不在により開講が難しい状態にあった。

最新動向

サモア国立大学の日本語教育は、人文学部内に4つのコースが設けられ、JICAより短期派遣の日本語教師（ボランティア）の派遣により2025年は開講されたが、2026年以降は日本語教教師が確保され、日本語教育体制が再構築されるまで、同大学での日本語講座は休講とすることが決まっている。また日本語コミュニティー講座も、現在、開催されていない。

教育段階別の状況

初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

高等教育

2026年以降実施は未定である。

学校教育以外

サモア国立大学の日本語コミュニティー講座は、現在、開講されていない。

3.教育制度と外国語教育

教育制度

教育制度

8-4-4制。

初等教育がYear1（5歳から開始）からYear8までの8年間、中等教育がYear9からYear12までの4年間である。Year12の修了時にSecondary School Leaving Certificate（SSLC）試験が実施され、この試験の結果が高等教育機関への入学の資格になる。サモア国立大学以外の高等教育機関としては南太平洋大学（USP）のサモア分校がある。

なお、2021年から順次導入された教育制度改革により、従来のYear13は廃止され、旧制度におけるSecondary School Certificate（SSC）試験（Year12実施）は、現在はYear10での診断的評価（Diagnostic Assessment）として実施されている。

教育行政

一部のミッション系や私立の学校を除いて、初等、中等、高等教育機関は教育文化省（Ministry of Education and Culture）の管轄で、サモア国立大学は政府直轄である。

言語事情

公用語はサモア語と英語である。日常的にはサモア語がよく用いられる。

外国語教育

英語は初等教育段階から教えられていて、Secondary School Certificate や Secondary School Leaving Certificate では必須の受験科目である。サモア国立大学でも、英語は必修。第二外国語は中国語となっている。

大学入試での日本語の扱い

大学入試で日本語は扱われていない。

4.学習環境

教材

初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

高等教育

2026年以降の実施は未定である。

学校教育以外

サモア国立大学の日本語コミュニティー講座は、現在、開講されていない。

IT・視聴覚機材

日本語の授業で用いた機器は、コンピューター、DVD ビデオ・CD プレイヤーなどで、特に市販教材（CD）による聴解学習を積極的に実施していた。

5.教師

資格要件

日本語教師の資格要件は特に定められていないが、現地雇用の日本語教師（日本語非母語話者）は母国の大学で日本語を専攻している。また、サモア国立大学では、大学教員に対して修士以上の学位の取得を奨励している。

日本語教師養成機関（プログラム）

日本語教師養成を行っている機関、プログラムは確認されていない。

日本語のネイティブ教師（日本人教師）の雇用状況とその役割

日本語のネイティブ教師（日本人教師）の雇用は確認されていない。

教師研修

現職の日本語教師対象の研修は確認されていない。

6.教師会

日本語教育関係のネットワークの状況

日本語教育関係のネットワークは確認されていない。

7.日本語教師派遣情報

国際交流基金からの派遣

JF からの派遣は行われていない。

国際協力機構（JICA）からの派遣（2025年10月現在）

青年海外協力隊・海外協力隊

サモア国立大学 1名

その他からの派遣

（情報なし）

8.シラバス・ガイドライン

統一シラバス、ガイドライン、カリキュラムは確認されていない。

9.評価・試験

共通の評価基準や試験は確認されていない。

10.日本語教育略史

1997年	サモア国立大学にて日本の無償資金援助により、新キャンパス建設
1998年	JICA 専門家を学長アドバイザーとしてサモア国立大学に派遣 サモア国立大学で JICA シニアボランティア教師により日本語コース及び日本語コミュニティー講座開始
2006年	サモア国立大学とサモア技術学院が合併。日本語がサモア国立大学人文学部外国語学科日本語コースの選択科目及び技術学院
2006年	観光科の必修科目となるサモア国立大学内の組織改編により、日本語が人文学部外国語学科日本語コースでは選択科目、商経学部（旧技術学院）観光科で必修科目となる

2023 年

サモア国立大学の日本語教育は、人文学部内に4つのコースが設けられていたが、講師不在のため、2023年1学期段階でいずれも開講されていない。また日本語コミュニティー講座も開催されていない

2025 年

JICA より短期派遣の日本語教師（ボランティア）が派遣により2月～12月まで第二外国語として開講

2026 年

日本語教師確保の見通しが立つまで、日本語コースの再開は未定

情報更新についてのお願い

この国の日本語教育に関する情報がありましたらお知らせくださるようお願いいたします。
なお、内容の確認のため、こちらからご連絡する場合があります。

Eメール：kunibetsu@jpf.go.jp

（メールを送る際は、全角@マークを半角@マークに変更してください）